

一般質問



12月6日から8日までの3日間、17人の議員が一般質問を行いました。質問は、中学校完全給食、教職員の多忙化といった教育行政に関する課題や福祉、まちづくりなど、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。一般質問は、3面・4面にも掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



市民のための 利便性向上に努めよ

一 秦野自転車駐車場の整備について

問 平成31年度供用開始の秦野駅北口の駐車場は現在地に建て替えるが、概要と現在までの整備状況、利用者の利便性向上はどうか

答 基本設計が終了し、実施設計の委託業務を行っており、30年度早々に建物を取り壊す。整備する駐車場は、地上4階建てで約700台収容、各階にコンベヤー方式の設備と専用エレベーター、コインロッカー、フリースペースなどを設置し利便性の向上に資する。

二 障がい者を取り巻く課題について

問 親亡き後、その役割を担う体制が必要だが、民設民営による地域生活支援センターの機能充実を図るための支援はどうか

答 相談や就労などの支援を地域生活支援センターに集約し、ワンストップで行うため利用者の利便性が向上した。同センターの運営や運営費などを支援していきたい。

三 相模メモリアルパーク渋沢(東端)墓園造成事業について

問 総合計画では、霊園計画を市施工から公益財団法人などによる建設へ転換した経緯がある。平成

26年秋に着工し、市民の期待が実現する、霊園建設の状況はどうか

答 工事は、スケジュールどおりに進んでいる。29年10月から管理棟工事に着工し、道路、墓園造成、植栽など工事全体の約8割が完了との報告を受けている。



地域経済の好循環につながる 観光施策の推進を図れ

一 おもてなしに十分配慮された観光の推進について

問 交流人口の増加による地域経済の活性化が求められている中、観光は知恵と工夫で本市の財政や活性化に役立つと考えるがどうか

答 多くの人が訪れることで地域が活性化し、同時に消費が活発になしに今後も努めていく。

二 親しみのある坂道の命名について

問 坂道に名前があれば親しみも湧き、地域に新しいストーリーが生まれてくる。観光振興の観点から坂道に命名をしてはどうか

答 場所が特定され、歴史的な価値

が高くと地域の活性化に効果的であれば、施設を所管する関係部署などと協議し、対応していきたい。



交流人口増加のための受け入れ体制強化を(写真は実証運行中の鶴巻温泉・大山間バス路線)

三 ごみ減量に向けた取り組みについて

問 無償化の影響を見定めるまで進行中の大根幼稚園と大根小学校の施設の一体化の事務は、一時凍結すべきではないか

答 大根幼小一体化は、4歳、5歳児ともに1クラスとなった大根幼稚園の園児数の減少に対応した教育の集団性を確保するものであり、将来は幼小中一体となった「義務教育学校」を設立することを

見据えている。すでに政策会議や教育委員会会議での決定事項であり、国の無償化の動きに関わらず、現在の事務を進めていく。

問 消費増税後に、幼児教育無償化の対象となる保護者に対して、2年保育の公立幼稚園を選択する意向があるかどうか、アンケートを実施する考えはどうか

答 平成23年以降の議論を踏まえて今の計画がある。改めてアンケートの実施は考えていない。

意見 一度決めたことは変えないという行政の姿勢は間違っている。



「はだっちメント」の普及で 母と子の笑顔を守ろう

一 子どもの虐待防止について

問 ネットや心理的虐待は本市中でも増加しており、虐待は※愛着障害を発生させ脳の健全な発達を妨げ、子どもの将来において社会が背負うコストは大きい。①妊産婦への相談支援やリスクチェックは、②楽しい子育て講座はだっちメントの取り組みはどうか

答 ①母子健康手帳交付時に妊産婦の心の不調などを把握し早期支援に努め、自己でストレスチェックできる「赤ちゃんママモード」から相談窓口を案内している。②愛着に着目し、保護者が参加しやすく充実した講座内容とした。

二 障害を理解するマークについて

問 外見では分からない支援や配慮を必要とする人に対し、県が援助を受けやすくするヘルプマークの周知を図っているが、本市の配布状況や周知はどうか

答 県内の自治体にマークが一斉配布されたが、現在、追加配布を要望している。周知のための看板製作は担当課と今後調整したい。

三 観光資源の創出について

問 本市の歴史文化の宝である源実朝公に光を当て、和歌に詠まれた題材などを資源とし、書道や喫茶の体験はインバウンドに貢献できると考えるがどうか

答 青年将軍で歌人であった実朝公の物語や歴史的背景の伝承を視野に入れ、人気のある書道体験などを組み入れたコースを検討する。

四 大根幼小一体化にはゼロから3歳児の保護者アンケートを

無所属 吉村 慶一

問 教職員の長時間勤務は看過できない状況にあるが、どう考えるか

答 教育課題などが複雑化し、学校の役割が拡大しており、勤務実態の一層の改善が求められている。

五 文部科学省は勤務実態の改善のため、給食費の公会計化を提言しているが、どう考えるか

答 公会計化の効果や国の動向を見極めながら、教員が業務に専念できる環境づくりに取り組みたい。

六 給食費の公会計化を実施し、教員の業務改善を実施してほしい

二 東海大学前駅周辺と東海大学周辺のまちづくりについて

問 東海大学同窓会館が解体され、進めるため、同窓会館跡地に国際交流機能を中心とする施設の建設を検討しており、取得は難しい。

問 大学は同窓会館跡地を再編の核と考えているようだが、幼稚園跡地の活用との関連性はどうか

答 大学側は幼稚園跡地を同窓会館跡地と隣接する重要な資産と捉えており、本市は市内の活用見込みを確認し、大学側と協議したい。

要望 同窓会館と幼稚園の跡地が、地域活性化に生かされるような連携・検討を行ってほしい。

七 東海大学と連携して地域活性化に努めよ

自民・新政 高橋 照雄

問 大根幼稚園は大根小学校内への移転が決定している。同窓会館跡地を取得し、幼稚園跡地と合わせ、地域コミュニティの拠点となる複合施設の建設を検討してはどうか

答 大学側は大学機能の再編を促進するため、同窓会館跡地に国際交流機能を中心とする施設の建設を検討しており、取得は難しい。

問 大根幼稚園は大根小学校内への移転が決定している。同窓会館跡地を取得し、幼稚園跡地と合わせ、地域コミュニティの拠点となる複合施設の建設を検討してはどうか

答 大学側は大学機能の再編を促進するため、同窓会館跡地に国際交流機能を中心とする施設の建設を検討しており、取得は難しい。



大根幼稚園との一体化の検討が進む大根小学校

活用しています 大型スクリーン



平成28年9月定例会から議場に大型スクリーンを設置し、傍聴者に趣旨や論点が伝わりやすいように、写真やグラフを表示しています。12月定例会では一般質問を行った17人の議員のうち、10人の議員が活用しました。これからも、分かりやすく身近な議会となるよう傍聴環境の改善に取り組んでいきますので、ぜひ傍聴にお越しください。

会派の表記について …「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。

用語解説 ※愛着障害：養育者との愛着(アタッチメント)が何らかの理由で形成されず、情緒や対人面に問題が起こる状態のこと。